

《ラナさん》

Gate17

わしはこの村でもう 40 年も医者をしておる。

30 年前だったかな。村である恐ろしい病気が流行ったんだ。たくさん大切な命が失われた。それはそれは、悲しいことだった。

それから毎年冬になると、その病気は流行し、村人の命を奪い続けてるようになった。何かのたたりではないかという人もいたほどだ。

20 年前、わしはある噂を聞き付けた。それは、この病気を治すのにアグーという植物がよくきくということだ。

ただ、アグーを育てるのは苦労の連続だった。ちょっとした気温の変化や水の量のちがいで、すぐにくさってしまうんだ。

失敗に失敗を重ねて、ようやく栽培に成功したんだ。

このアグーの実にはかたい皮がある。この皮をこまかくして飲むと、たちまちよくなってしまうんだ。そこから、この病気で命を失う人はいなくなった。

ただ、今年は雨が多かったこともあり、不作でアグーの実が 5 個しかできなかった。

5 個といえば、村人がぎりぎり助けられるかどうかの数だ。

大切な村人の命。もうあんな悲しい想いはしたくない。

だから 1 つたりともゆずることはできないんだ。